

8月25日に、鹿児島大学水産学部中村啓彦先生に、気候温暖化について取材をしました。

その中でぼくはGPSラジオゾンデに興味がわきました。ラジオゾンデは手のひらくらいの大きさです。発泡スチロールに固定されていてとても軽く、風船みたいに空に浮かべます。これで会場の風向き、気圧、温度、湿度などの気象データを観測します。

実物を見て触ってみました。こんな小さな機械でたくさんの情報を収集できて、ぼくたちの生活に役立つなんて、カッコいいなと思いました。

川路瑛太（かわじえいた）